

令和8年 第3回（6月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手	備 考
1	小 森 弘 美	30分	1. 子どもたちの健やかな生活リズムを支えよう	(1) 睡眠教育「みんないく」について	<p>「みんないく」とは睡眠教育の略称であり、睡眠は子どもたちの健やかな成長に不可欠である。睡眠は単なる休息ではなく、心身や脳を支える重要な時間である。</p> <p>しかし近年、子どもを取り巻く生活環境は大きく変化している。不登校に関する相談を受ける中でも、生活リズムの乱れや睡眠習慣に課題を抱える家庭が増えていると感じる。</p> <p>また、子どもの睡眠時間は減少傾向にあり、その背景にはスマートフォンやインターネットなどの長時間利用があると指摘されている。</p> <p>そこで、志免町における「みんないく」を町としてどのように考えるか伺う。</p> <p>①志免町では、児童生徒の睡眠状況について、就寝時間・起床時間・睡眠時間、また朝食摂取との関連を含めた実態把握はできているか伺う。</p> <p>②子どもたちの夜更かしの原因の1つとして、スマートフォン、テレビ、インターネットなどの利用が挙げられる。</p> <p>i 町として、子どもの発達段階に応じたネットメディア依存対策を講じているか伺う。</p> <p>ii 志免町の小中学校の児童生徒のネットメディア依存傾向の推移や実態を把握しているか伺う。</p> <p>③子どものネットメディア依存は「やめたくてもやめられない」状態になっているケースもあり、単なる夜更かしではなく、依存傾向として捉える必要があるのではないかと。</p> <p>学校現場において、ICT利用と睡眠の関係、メディアコントロール、夜間使用への注意喚起などについて、どのような指導が行われているか伺う。</p> <p>④学力向上は学習だけでなく生活習慣作りも重要である。</p> <p>例えば、学力上位県の秋田県では学力向上と睡眠を連動させている。また、堺市では「みんないく」を授業に取り入れ、5年間で不登校生徒数を半減させたとの報告もある。</p> <p>このような先進地事例を踏まえ、志免町でも「みんないく」を推進していく必要があると考えるが、町の見解を伺う。</p>	町 長 教 育 長	
			2. 地域防災力向上について	(1) 今後の地域防災の方向性は	<p>近年、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化しており、地域防災力をいかに高めていくかが重要な課題となっている。</p> <p>そのような中、先日、福岡県防災士会と志免町が調印式を行った。これは、地域防災を考える上で、大変意義ある取組みであり、今</p>	町 長	

				(2) 防災士の活用について	<p>後の防災力向上につながるものと期待している。</p> <p>そこで、今後の地域防災の方向性について、町の見解を伺う。</p> <p>①地域防災訓練や自主防災組織の活動は、災害時において重要な役割を果たす一方、高齢化や町内会加入率の低下、担い手不足などにより、地域防災力の維持が課題となっている。</p> <p>町として現在どのような課題認識を持っているか伺う。</p> <p>②今後、地域防災力向上のために、どのような施策を展開していくのか町のを伺う。</p> <p>志免町でも、防災士資格費用の助成が行われるようになり、地域防災の担い手が増えていくことを期待している。</p> <p>しかしその一方で、「資格を取得したが、実際にどのような場で活動すればいいかわからない」との声も聞かれる。</p> <p>そこで、防災士の活用について伺う。</p> <p>①志免町における防災士資格取得者数や、その活動状況について、町として把握しているのか伺う。</p> <p>②今後、町として防災士にどのような役割を期待しているのか伺う。</p> <p>③地域防災訓練、自主防災組織、避難所運営等において、防災士をどのように活用していくのか伺う。</p> <p>④避難所運営支援、地域防災訓練、学校防災教育、要配慮者支援など、防災士が力を発揮できる場づくりが必要と考えるが町の見解を伺う。</p> <p>⑤地域、町内会、学校、防災士、住民が連携しながら、地域全体で防災力を高めていく必要があると考える。町として、今後どのように連携体制を構築していくのか伺う。</p> <p>⑥防災は行政だけでなく、地域住民や関係団体との連携が不可欠である。防災士を「資格取得だけで終わらせない」ための仕組みづくりこそが重要と考えるが、町の見解を伺う。</p>		
2	丸山真智子	30分	1. 孤立・孤独を感じさせない安心して暮らせる地域づくりについて	(1) 見守り体制の現状と課題を問います	<p>①地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務める民生委員・児童委員の充足率は。足りない場合、どうカバーしているのか。名簿はどのようなものを持たれているのか。民生連絡員として希望者だけでも専用の携帯を貸したらどうか。</p> <p>②70歳以上の独居世帯、75歳以上高齢者のみの世帯の人数。そのうち見守り同意者数、不同意者数、不同意の理由は。名簿の提供先はどこか。提供していない町内会の見守り状況の把握はしているのか。</p> <p>③見守り体制の社会福祉協議会との連携は。</p> <p>④災害時避難行動要支援者の5種類それぞれの対象者人数。また、登録者数。台帳の配布先は。</p> <p>平常時の見守り活動や有事の際の安否確認や避難支援などできるようになっているのか。避難誘導訓練は行われているのか、(福祉総合</p>	町長	

			2. 生きる力を育む 子どもの遊び について	(1) 子どもの権利条約第31条には「休むこと」だけでなく「遊ぶこと」も子どもの権利と書かれている。子どもの遊びの大切さと環境整備について問います	計画の行動目標) ①子どもの遊び、特に外遊びの現状と課題をどうとらえているのか。 令和7年6月議会で、子どもの近視の予防で屋外活動の重要性を質問したが、啓発は充分なのか改めて問います。 ②「自分の責任で自由に遊ぶ」のがモットーのプレーパークが生きる力を育む遊び場として全国に広がっている。志免町子どもの権利条例にも関係するプレーパークの必要性についての考えを伺う。 ③まずは、プレーワーカーの人材育成が急務。養成講座の開催が必要。出来ればワーカーの活動に予算化を。 ④全小学校で昔遊びは行われているのか。シーメイトで行われていたこどもの日の昔遊びを復活させて欲しい。 ⑤シーメイトのなかよしパークは人気があるが、暑さ対策が必要となっている。日よけの設置とミスト噴霧ができないか。	町 長 教 育 長	
			3. 子どもの最善の利益を考えた 保育所等訪問 支援について	(1) 社会に出るまでは必要な 伴走型支援である保育所等 訪問支援の質を高めるため に質問します	①「保育所等訪問支援ガイドライン」(令和6年7月)における支援の役割は。 ②保育所等訪問支援事業所や訪問支援員の質が問われると思うが課題はないのか。課題があった場合、どのように対処しているのか。 ③志免町の場合、有期のサービスになっているが、問題があるのでは。 ④質を高めるために、町が責任をもって人材育成を行う必要があるのではないか。	町 長 教 育 長	
3	藤瀬康司	30分	1. 持続可能な地域 コミュニティ 構築について	(1) 町内会組織の校区単位再 編について	①現状認識について i 町内会・自治会役員の高齢化や担い手不足について、町の認識は。 ii 加入率推移、未加入増加、役員負担等の実態把握は行っているか。 iii 回覧板、防災、清掃、見守り、敬老事業、地域行事等の各種活動負担について、実態調査は実施しているか。 ②校区単位コミュニティ形成について i 現在町内会単位で実施している事業のうち、校区単位連携が可能な事業をどう認識しているか。 ii 防災、見守り、福祉、育成会、地域行事等について校区連携を進める考えは。 iii コミュニティスクールや学校運営協議会との連携状況は。 iv 将来的な校区単位コミュニティ形成について検討は。 ③若者参画について i 全国では高校生が町内会長を務めた事例もあるが、若者の地域参画について町の見解は。 ii 中学生、高校生、大学生の地域活動参加促進の考えは。 iii 学校教育と地域活動を結びつける仕組みづくりの考えは。 ④今後について i モデル地区による校区型コミュニティ実	町 長 教 育 長	

				<p>(2) 電子回覧板導入について</p> <p>(3) 敬老会の校区化及び世代間交流型への転換について</p>	<p>証を行う考えを町長に伺う。</p> <p>①現状認識について</p> <p>i 紙回覧板に係る役員負担を町はどう認識しているか。</p> <p>ii 配布遅延や若年層への情報伝達不足等の課題認識は。</p> <p>②電子化について</p> <p>i 電子回覧板導入自治体の調査研究状況は。</p> <p>ii LINE やアプリ、WEB 等の活用・導入の可能性は。</p> <p>③今後について</p> <p>i モデル地区による電子回覧板導入実証を行うお考えを町長に伺う。</p> <p>①現状認識について</p> <p>i 敬老会の参加率の推移及び地域別の参加状況は。</p> <p>ii 開催負担について自治会等から意見聴取は行っているか。</p> <p>iii 準備、設営、送迎等の負担及び「祝う側」の高齢化について町の見解は。</p> <p>②校区化・世代間交流について</p> <p>i 校区単位開催へ変更した場合のメリット・課題認識は。</p> <p>ii 学校体育館、公民館等活用可能性は。</p> <p>iii コミュニティスクールと連携した世代間交流事業実施の考えは。</p> <p>iv 児童生徒参加、昔遊び、文化継承、見守り活動等との連携は。</p> <p>v 高校生等、若者のボランティア参加促進の考えは。</p> <p>③今後について</p> <p>i 校区単位モデル実施を検討できないか。</p> <p>ii 式典型から交流型への転換について町長の見解を伺う。</p>		
4	安河内 祐子	30分	1. 第3次志免町男女共同参画行動計画の推進について	<p>(1) 志免町男女共同参画の現状について令和6年1月に行われた、意識調査結果からみた現状を問う</p> <p>(2) 第3次志免町男女共同参画行動計画は昨年策定されたが、その後1年間の計画の具体的取組みについて問う</p>	<p>①志免町男女共同参画の現状について（令和6年1月実施の意識調査結果より）問う。</p> <p>i 固定的性別役割分担意識の状況は。</p> <p>ii 男女の地位の平等感についての認識は。</p> <p>iii 中学生アンケート結果による固定的性別役割分担意識の状況は。</p> <p>iv 同じく中学生アンケート結果による男女の地位の平等感は。</p> <p>①基本目標Ⅰの2「男女共同参画の視点に立った教育の充実」に対する具体的な事業についての取組みを問う。</p> <p>i 幼児期からの男女共同参画教育の推進の取組みは。</p> <p>ii 学校教育における男女共同参画教育の推進については。</p> <p>iii 保育・教育関係者等に対する男女共同参画に関する研修情報の提供状況は。</p> <p>iv 子育て世代を対象とした男女共同参画の啓発の取組みは。</p> <p>v 町民図書館における、メディアリテラシー（様々なメディアが発する情報を的確</p>	町長 教育長	

					<p>に判断し、対処することができる能力)に関する取組みについてどのような視点に立って推進を行っているか。</p> <p>②基本目標Ⅱの1「政策・方針決定過程への女性の参画促進」に対する具体的な事業についての取組みを問う。</p> <p>i 審議会等における女性委員の登用促進と、政策策定課程への女性参画の推進状況は。</p> <p>ii 女性リーダーの育成や関係団体への支援の取組みは。</p> <p>③基本目標Ⅱの2「働く場における男女共同参画の推進」に対する具体的な事業についての取組みを問う。</p> <p>ワーク・ライフ・バランス及び多様な働き方の実現に向けた取組みとして</p> <p>i 女性に対する取組みはどうか。</p> <p>ii 男性に対する取組みはどうか。</p> <p>④基本目標Ⅱの3「地域における男女共同参画の促進」に対する具体的な事業についての取組みを問う。</p> <p>i 性別に関わらず地域活動に参加しやすい環境づくりの取組みはどうか。</p> <p>ii 男女共同参画の視点に立った災害対策の取組みはどうか。</p> <p>⑤志免町男女共同参画推進条例は平成26年に策定・施行され12年が経過しているが、これまでの取組みを踏まえた全体的な評価と課題、今後の展望について問う。</p>		
5	稲永義美	30分	<p>1. 「第6次志免町総合計画 みんなで未来をつくるまち」のまちづくりの基本方針「基本目標3:健やかでやさしく支え合うまち・健康・福祉」について</p> <p>2. 小学生の校区外移動禁止の件</p>	<p>(1) 高齢者福祉の充実に向け、移動、買い物、見守り、フレイル予防の今後の対策と、関連予算の確保の考えを伺う</p> <p>(1) 校区外移動を禁止している理由と見直しの考え、</p>	<p>①高齢者福祉施策の現状と認識について</p> <p>i 移動手段確保の状況。</p> <p>ii 買い物支援の状況。</p> <p>iii 独居高齢者を中心とした高齢者の見守り支援の状況。</p> <p>iv フレイル予防の状況。</p> <p>v 高齢者団体の、グラウンドや広場の利用状況。</p> <p>vi 現在の支援・対策が十分であると認識しているのか、課題をどのように捉えているのか。</p> <p>②今後の支援・対策の方向性について</p> <p>i 移動手段確保に向けた今後の支援・対策は。</p> <p>ii 買い物支援の充実に向けた今後の支援・対策は。</p> <p>iii 独居高齢者等の見守り体制の強化に向けた今後の支援・対策は。</p> <p>iv フレイル予防の推進に向けた今後の支援・対策は。</p> <p>v 高齢者団体によるグラウンドや広場の使用料について、利用促進の観点から今後の支援や負担軽減、見直しの考えは。</p> <p>③予算措置に関する考え方について</p> <p>i 今後の補正予算編成において、高齢者支援関連予算を重要施策として位置付け、重点的に確保していく考えはあるのか。</p> <p>①禁止に至った背景及び理由は。</p> <p>②保護者からのデメリット等の意見は把握し</p>	町長	町長 教育長

7	岩下多絵	30分	1. 国際的で開かれた魅力あるまちづくりについて	<p>(1) グローバルな視野を広げる機会としての「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の積極的な活用について</p>	<p>近年の急速なグローバル化に伴い、国際感覚を持った人材育成の必要性が高まっている。また、あらゆる世代の町民においても、グローバル化への対応が求められている。外国人住民も地域コミュニティの一員として共に暮らす時代となる中、私たち住民自身も国際理解を深め、グローバルな視野を広げていく必要があると考える。</p> <p>そこで、福岡市において産官民一体となって取り組まれている「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の周知や、積極的な参加・活用について質問する。</p> <p>「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」は、1989年（平成元年）の福岡市制100周年記念事業「アジア太平洋博覧会（よかトピア）」の参加事業として始まり、今年で38年目を迎える。</p> <p>私自身も、ちょうど30周年を迎えた8年前に、家族でホストファミリーとして参加した経験がある。その経験も踏まえて、質問する。</p> <p>①まず、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の概要について説明を求める。</p> <p>②以前、志免町でも国際交流事業が活発に行われ、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の受け入れにも町として参加していたと聞く。その後、継続されなかった理由について伺う。</p> <p>③第6次志免町総合計画においては、国際交流や多文化共生の視点が比較的薄いように感じる。町として、近年の急速なグローバル化に対し、住民教育を含めどのように対応していく考えなのか伺う。</p> <p>④また、学校教育においても異文化理解や多文化共生の視点はますます重要になると考える。子どもたちの国際感覚や多様性を尊重する姿勢を育むため、どのような教育を進めていく考えなのか伺う。</p> <p>⑤「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の主な目的は、子ども同士の国際交流、異文化理解、思いやりの心を育むこと、そして将来の国際的リーダーの育成である。</p> <p>子どもが主体の事業ではあるが、そこには必ず保護者や家族の関わりが生まれ、結果として多くの住民が国際交流を体験できる機会となる。このような事業を、町としてさらに積極的に活用してはどうか。</p> <p>i 小学校への「ブリッジ サマーキャンプ」の周知について (11歳前後の「子ども大使」を受け入れるホストファミリーとして参加するプログラム)</p> <p>ii 小中学校における「スクールビジット」参加の検討について (「子ども大使」が福岡市周辺地域の小中学校を訪問し、日本の子どもたちと1日交流するプログラム)</p> <p>iii 「ブリッジ チャレンジ トリップ」の周知について (毎年春休みを中心に、福岡の小学5年生</p>	町 長 教 育 長
---	------	-----	--------------------------	--	---	--------------

					<p>から高校3年生を対象に実施される海外異文化体験プログラム)</p> <p>⑥わが家にとっても、8年前のホストファミリー参加は大変貴重な経験となり、家族全員の視野が広がるきっかけとなった。</p> <p>現在はSNSなどを通じ、その後もオンラインで交流を続けることができる時代である。さらに今年は、8年前に受け入れた「こども大使」が、各国から1名のみ選ばれる「ピース大使」に選出され、OBとして来福する予定である。このような貴重な機会を創出している「アジア太平洋こども会議・イン福岡」に対し、福岡市近隣自治体である志免町としても積極的に関わることで、多くの町民が世界の文化や価値観に触れ、国際理解を深める契機になると考えるが、最後に町の見解を伺う。</p>	
8	稲永隆義	30分	<p>1. 第6次志免町総合計画後期基本計画および第3期志免町総合戦略について</p> <p>2. 志免町町勢要覧について</p>	<p>(1) 議会及び町民の皆さんと共有を</p> <p>(1) 志免町町勢要覧の作成状況は</p>	<p>令和8年度から令和12年度までの5年間の第6次志免町総合計画後期基本計画と第3期志免町総合戦略が2年の歳月と2,000万円以上の税金をかけて作成された。私はいいものができたと評価しているが、</p> <p>①作成した側としての評価と前期のどのような反省(振り返り)のもとに作成したか伺う。</p> <p>②第6次志免町総合計画後期基本計画及び第3期総合戦略の主眼は何か。</p> <p>③町の取組の項目で「子どもの健全育成を推進する」となっていたのを「子どもの健全育成を支援する」等、支援するという表現が増えているが、その意図を伺う。</p> <p>④基本目標6の「住民と行政がともに創るまち」の施策が拡充されたが、その意図は。</p> <p>⑤完成版の議員への周知が、ホームページでの公表より後となっているが、議会への情報提供のあり方やタイミングについてどのように考えているのか。</p> <p>⑥今後、この第6次志免町総合計画後期基本計画と第3期志免町総合戦略を町民の皆さんとどのように共有していく予定か伺う。</p> <p>志免町町勢要覧の作成費用は令和6年度から令和7年度に繰越明許費として繰り越されたはずだが、</p> <p>①本年の3月議会で議会に報告がなかったがどうなっているのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>